



TIAニュース

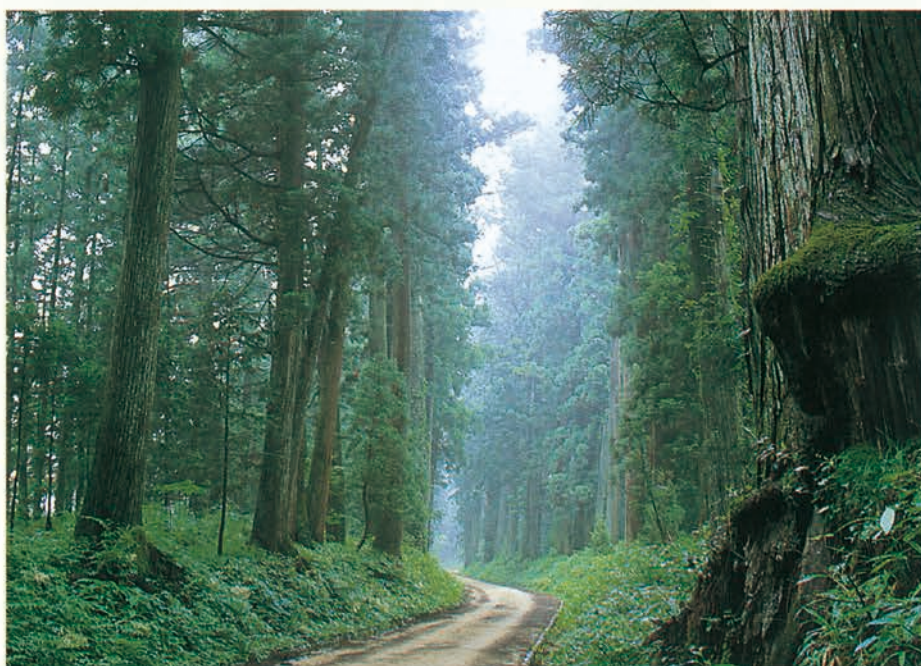


財団法人栃木県国際交流協会
Tochigi International Association

やあ!

1996
MAY
No.43

5



杉並木

市町村文化財紹介 今市市

杉並木

日光街道、例幣使街道、会津西街道の今市・日光全域、全長37kmの両側にそびえる杉並木は、徳川家康の忠臣松平正綱が20余年の年月をかけて杉を植え、家康の33回忌にあたる1648年4月17日に日光東照宮に寄進したものである。

毎年11月上旬、街道2kmにわたって日光街道杉並木まつりが開催され、大名行列の再現や流鏑馬などが繰り広げられる。

— The Cedar Road —

Giant Japanese cedars line both sides of The Cedar Road for its 37km length along the Nikko, Reiheishi and Aizu-nishi highways in the Nikko-Imaichi region. Masatsuna Matsudaira, a loyal subject of Ieyasu Tokugawa, took 20 years to plant the saplings. Matsudaira donated his cedar Road to the Toshogu Shrine on 17 April, 1648, to commemorate the 33rd anniversary of Ieyasu Tokugawa's death (a significant anniversary in Buddhism).

The Nikko Cedar Road Festival is held in early November every year along a 2km stretch of the road. A procession of feudal lords and archery on horseback are re-created.

新シリーズ

ボ リ ビ ア

青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介

ようこそとちぎへ

● 平成8年度県費留学生
● 中国から国際交流員

- ◆ リポート
フランスへ高校生5名が研修旅行
- ◆ 国際交流団体紹介
大平町日中友好協会
- ◆ 国際交流学校訪問
作新学院高等部吹奏楽部
- ◆ トピックス
今市市と野木町に国際交流協会

ようこそとちぎへ

welcome to Tochigi

平成 8 年度県費留学生

1996年4月8日、3名の県費留学生を乗せた飛行機が成田空港に到着した。2年目の留学生を含めて、今年度の県費留学生は計4名で全員女性。研修科目は法律、コンピューター、歯科技工、経済と様々である。

①年齢 ②出身 ③研修科目 ④留学先
⑤メッセージ (敬称略)

〔新規留学生〕

▶池田カルラ・クリスティーナ ①25 ②ブラジル・サンパウロ市 ③国際法学 ④白鷗大学法学部 ⑤留学の目的は、私の勉強した法律をもっと深く研究するためです。私の育った国とは文化、習慣、すべてにおいて違いますので、毎日の生活の中で、皆様に失礼をしたり、分からないことも沢山あると思います。目的に向かって一生懸命頑張りたいと思います。皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

▶中見川めぐみ ①25 ②ブラジル・ベレン市 ③情報工学 ④宇都宮大学工学部 ⑤私は日本に来て一番感じたのは、寒さや美しい桜の花でした。これから分からないこともいっぱいあると思いますが、ま



◀前列右から緑、めぐみ、後列右からカルラ、ソフィア

わりの皆様に教えていただいて、一生懸命頑張ってやっていきます。

▶鶴崎ソフィア道香 ①26 ②ブラジル・ベレン市 ③歯科技工学 ④栃木県立衛生福祉大学校歯科技術学部歯科技工学科 ⑤私はベレン市のバラー大学で歯科学を学びました。日本で勉強したいと思い留学を希望しました。留学できましたことをうれしく思います。日本の生活や言葉に慣れまして、多くの友人とともに楽しい学生生活を送りたいと思います。お世話になります皆様に感謝いたします。よろしくご指導ください。

〔継続留学生〕

▶池田ルシア緑 ①26 ②ペルー・リマ市 ③経理部門管理科・経理科 ④白鷗大学経営学部 ⑤日本に来て1年が経ちました。四季の変化が分かってくるようになりました。充実した生活を送っています。日本にいるあいだ、美しいところを見学してまわりました。これからもっと日本の文化や言葉や経営学などを勉強したいと思っています。日本に来る前におばあちゃんから日本のことを聞いていましたが、今はそれを実際に体験しています。将来帰国してから、日本で覚えたことをペルーの人に教えたいので、これからも頑張ります。

栃木県国際交流課国際交流員 于 紅 さん(中国・吉林省出身・29歳)



この4月から栃木県国際交流課の国際交流員として就任した于紅さんは、中国江西省九江市人民政府外事弁公室で、主に姉妹関係にある岡山県玉野市と奈良県大和高田市との業務連絡の通訳として8年間従事していた。彼女の出身地は、東北の吉林省琿春市で、朝鮮族の多いところだそう。高校時代から、日本語に興味を

持ち始め、長春大学の日本語学部で専門的に日本語の勉強をし、大学卒業と同時に九江市へ政府から配属された。九江市は戦前日本人が住んでいた町で、今でも九江会という組織があり、隔年桜の咲く4月中旬に当時働いていた人達がこの地を訪れるという。

今回、宇都宮は初めてということなので、印象について語ってもらった。「都市機能を備えているとても大きな街と思いました。私のいた九江市は人口43万人で、中国では小規模な都市です。来日は今回で5回目を数えますが、県庁所在地を訪れるのは初めてなので、内心わくわくして

います。人々もとても親しみやすく、初対面の私にとっても親切にいただき、優しい感じを受けました。街のなかには、とてもきれいで、衛生面からみても中国とは対照的で、ずっと進んでいて、生活のしやすい環境だと思いました。」

今回の来日は、駐外大使として赴任していた上司に勧められたそう。 「外国語を学ぶにはその国で学ぶのが一番いいと教わりました。私を日本に來させてくれた上司に報いるように、日本でなければ学びとれないような幅広い知識や文化、習慣を身につけ、帰国後、それを後輩や中国の人々に紹介し、私の目標である専門的な通訳として日本との交流に役立ちたいと考えています。私は、見かけは細いですが、体力には自信があります。今後ともよろしくお願いします」と笑顔で話した。

JETコーナー

小川町国際交流員

クリスティー・イリングワース

(25歳・カナダ出身)



私の名前はクリスティー・イリングワースです。私はカナダのバンクーバーで生まれ、「世界の鮭漁の町」として知られているキャンベルリバー市で育ちました。もうひとつ

の鮭で有名な町は日本の石狩市です。石狩市とキャンベルリバー市は活発な姉妹都市プログラムを行っており、一言で言えばこのプログラムが現在私が日本にいる理由となっているのです。私は17歳の時、高校の交換留学生として1年間石狩市で過ごしました。日本での1年間は余りにも短かったもので、22歳のときに再び来日して京都の同志社大学で1年間勉強し、1年半前からJETプログラムの国際交流員として小川町で働いています。同町で過ごしたこともまたとても価値のある経験です。ですが日本人は度々「日本は狭いね」ということを口にします。私はそうは思いません。なぜなら、日本の面積は狭くても、言語、慣習、生活様式等幅広いものがあるからです。私が日本で住んだことのあるそれぞれの場所は、それぞれが違った趣をもっていました。

私の契約は7月で切れるので、JETプログラム終了後の自分の生活について考えなければいけない時期に来ています。ある日本人の友人に、JET終了後は大学院にいかうかと思っていると話したら、彼は私の年齢で大学院へ入るのには年を喰いすぎていると言ったのです。ですが私は何かを勉強するのに「遅すぎる」とは思いません。嘘だと思うなら私の祖母に聞いてみてください。祖母は61歳の時大学に入り英文学を専攻して、去年の5月に66歳という年齢で卒業しました。祖母は一生懸命勉強していました。私の家族はよく祖母を家に招いて一緒に食事をするのですが、祖母はいつも「ダメ、行けないわ。今週はテストが3つにレポート2つ提出しなきゃいけないの。ごめんね」と言っていました。何も祖母を止めることは出来ません。何と祖母は57歳でタップダンスを始め、60歳で高齢者向けのエアロビクスの講師になり、今は自分で本を書いたり、大学院へ行こうかなんていつてらんです！もしかしたら私と祖母と一緒に大学院に行っているかも…なんて一体誰が知っているでしょう？やろうと思ったら何だって出来るんです！



▲噂のおばあちゃん

My name is Christy Illingworth. I was born in Vancouver, Canada and grew up in a town called Campbell River whose claim to fame is being 'the salmon fishing capital of the world'.

Another town well known for its salmon is Ishikari, Japan. Ishikari and Campbell River have an active sister city program which is, to make a long story short, the reason I am in Japan today. When I was 17 I spent a year in Ishikari as a high school exchange student. One year in Japan was too short so I came back when I was 22 and studied at Doshisha University in Kyoto for another year and now I have been working in Ogawa here in Tochigi as a CIR on the JET program for the last year and a half.

This too, has been a very valuable experience. Although Japanese people often tell me 'Nihon wa semai ne' I have to disagree because although the area of Japan is small the language, customs and way of life are vast. Each of the places I have lived has been very different.

My contract ends in July so now I must think about 'life after JET'. I told one of my Japanese friends I was thinking of going to Graduate School and he told me I was getting too old but I don't think you are ever too old to learn—just ask my grandmother. My grandmother entered university when she was 61 and graduated last May with a degree in English Literature at age 66. She worked very hard; we would often invite her out for dinner but she would say 'No, I can't go. I have 3 exams and 2 papers this week. Sorry kids.' Nothing stops her. She started tap dancing at 57 and at 60 she became an aerobics instructor for senior citizens and now she is writing a book talks about going to Grad School. Who knows maybe we will be there together....anything is possible!

仏国・ヴォークリューズ県高校生派遣 レポート

3月12日～25日の2週間、フランスのパリ及びプロヴァンス地方のヴォークリューズ県で文化・習慣を学ぶ「栃木県日仏青少年短期研修事業高校生フランス派遣」に、5名の高校生（3月号で紹介）とともに参加した。栃木県と同県は3年前から高校生の相互交流を行っており、昨年10月には同県カルバントラ市ファーブル高校等から4名の仏高校生が来県している。

フランス到着後、パリ市内及びヴェルサ

イユ等近郊を2日間視察し、私たちはこの派遣のメインである「ホームステイと高校体験通学」のため、ヴォークリューズ県に移動した。県議会で歓迎会が行われたあと、ホストファミリーと対面し早速ホームステイに入った。

体験学習は前述のファーブル高校。5名の高校生はそれぞれのホストシスター・ブラザーが受ける様々な授業に参加した。仏高校生の授業に対する積極性や校内の自由な雰囲気、日本文化との違いを感じたようである。

また、体験通学の間に、プロヴァンス地方を沢山見学した。ローマ時代の建築物や中世から変わらない美しい町並み、そして豊富な自然に魅了され、この地方独特の歴



◀中世の町並みが今も残るゴルドをバックに

史や文化に触れることができた。

8泊9日のホームステイで築いたホストファミリーとの友情は、高校生はもちろん私にとっても一生の思い出になるだろう。そしてこの研修で得た体験は、彼らの国際理解を一層深めたことであろう。

(引率者：T I A 業務課 鶴山雄一)

シリーズ NO.1

青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介

ボリビア BOL

今年度シリーズでお届けする「青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介」では、隊員が専門分野の協力活動を通して実際に体験し、また感じたことを中心に、その国のプロフィールもあわせて案内する。

第1弾は「ボリビア」。南アメリカのほぼ中央に位置するこの国は、西部は3,000 m以上のアンデス高原地帯、北東部はアマゾン上流の低地で熱帯雨林気候となっている。先住民族（インディオ）が全人口の50%以上を占めており、その文化を今でも継承している。



手塚弘幸さん（31歳）宇都宮平成記念子どもの森冒険活動センター指導員



青年海外協力隊員として1992年12月から1994年12月までボリビアで理科を教える（派遣前は宇都宮市立鬼怒中学校理科教諭）。現職参加。昨年度の栃木県海外技術研修員として来県し総合教育センターで研修したボリビア人ロベルト・エスコバルさんは、手塚さんが推薦したカウンターパート。

案内人

楽しい協力隊活動

私の赴任地は、ボリビアの首都ラパスの南東約300kmに位置するオルコです。標高約4,000 m、富士山よりも高いこの町の都市教育局に所属し、理科教育のレベルアップのために働きました。現地の理科教師への技術指導、理科実験器具の整備、そして実際に学校での授業などです。

驚いたのは理科の実験器具類がないことです。だから例えば壊れた裸電球をちょっといじってフラスコや試験管の代用としたり、木と針金で天秤を作ったりします。日本がいかに恵まれているかを実感しますね。教師たちは真面目でやる気もあるのですが、発想があまりなく実践に弱いようです。だから、子供たちに分かりやすい教材の作り方を教えたりしました。

最も楽しかったのは学校の授業です。教育現場を知らなければ、教師への技術指導

もできません。子供たちは積極的に人懐っこく、日本人が珍しいせいにか私にサインをねだったりします。日本の子供たちより確かにレベルは低いかもしれませんが、ここにはいじめや自殺などは全くありません。電気・ガス・水道のない田舎の学校に1週間泊り込んで教えるときもあります。村から村へ自転車移動する途中、道に迷った上に雷に会い、死ぬ思いをしたこともありました。村と村の間には何にもないんです。



子供たちはやる気満々。白衣の制服が多い

教師側の問題点

ボリビアの教師の平均給与は日本円にすると1万円。これでは生活が大変なので、授業が終わった午後に、市場で野菜を売る人も沢山います。毎年この給料の問題で教師のストライキが行われ、これが教育指導レベルの低下につながっているようです。

一方1万円という給料は一応安定してい

るので教師希望者は後を絶ちません。ボリビアでは教員養成学校を卒業すれば教師になれる。ただ契約が1年限りなので、毎年教育委員会に並んで教師の職を得なければなりません。定員より希望者が多いのであふれる人もできます。これでは落ちついて教育に専念することはできません。

伝統的な「衣食住」

ボリビアは人口の半分がインディオです。彼らはケチュア族、アイマラ族で、伝統的な先住民族文化を継承しています。

町中に住んでいる人は洋服を着ていますが、農業・放牧業に携わっている人は民族衣装を着ています。ボンチョに山高帽、そして古タイヤで作ったサンダルなどが典型です。カラフルな色づかいなのは殺風景な土地に同化しないようにでしょうか。女性は風呂敷をいつも背負っています。中には食べ物や時には子供を入れます。



民族衣装に身を包む人たち



▲発泡スチロールを使って分子モデルを作る理科教師たち

IVIA

食べ物については基本はじゃがいも、米などの穀類です。肉類は牛肉（とても固いです！）や鶏肉がほとんどで豚肉はあまり食べません。またリヤマというアンデス特有のラクダのような動物が放牧されていて、その肉も食べます。このリヤマは実に便利で、荷物運びをするし、皮から服が作れます。その他私が気に入った食べ物に、ボリビア風餃子のサルテーニャや、長期間保存できるフリーズドライじゃがいものチューニョがあります。



▲アンデスの働き者リヤマ

ボリビアは昼夜の気温差が激しく、夜になると急に冷え込んだりします。また高地では、冬になると-20℃になることもあります。だから家の作りが工夫されています。一般的なのはアドベと呼ばれる住居で、日干しレンガを組んで作られます。屋根は藁葺きです。日中にレンガが太陽の熱を吸収し、夜になると家のなかに放射するので暖かく、寒さをしのげます。



▲日干しレンガの家アドベ

folklore and soccer

音楽と言えばもちろんfolklore。楽器はサンボニア（パンフルート）、ケーナ（たて笛）、チャランゴ（小さいギター）などです。祭りのときには欠かせません。

一方スポーツはサッカーが最も人気があり国技になっています。子供も大人もいたるところで夜遅くまでやっています。標高3,700 mで試合が行われると、さすがのブラジル・ナショナルチームもボリビアチームにはかないませんよ。

▶ボリビアの民族衣装ポンチョをまとったサンボニア（パンフルート）を吹く老人



known places

南米諸国のなかで、ボリビアはブラジルやペルーに比べると観光産業は発展していません。でも見どころは沢山あります。これはすごい！と思ったのは南部にあるウユニ塩湖です。なんと栃木県と同面積の塩湖なんです。青い空と白い塩のコントラストが見事です。また、北東部のアマゾン上流地のトリニダに行ったときは、大きなピラニアを釣りました。



▲栃木県と同面積のウユニ塩湖

牛肉1kg 40円、ランチ50円

全体的に見て、ボリビアの物価は日本の5分の1程度です。食べ物はかなり安く、例えば牛肉1kgが40円、コカコーラ1.5ℓ 50

円、ランチ定食（サラダ・スープ・メイン・コーヒー）50円、タクシーは特別安いところに行かなければ30円などです。服はほとんどが中国やアメリカからの輸入品です。私は現地手当として毎月3万円いただいていたので、普通の生活ができました。

people of Bolivia

ボリビアの人は基本的に農耕民族的な性格で、時間をあまり気にせずのんびりと、自然と一体になって生活しています。自然との調和です。シエスタ（昼寝）の習慣もあります。そして彼らは皆、家族を大切にしています。また初対面から友達になることもできます。あまり観光地化されていないので、素朴なんですよ。2年間このような人々と接して、人間のあり方を感じました。



▲アマゾン川で釣ったピラニア

data

Bolivia Republic



〔国旗の意味〕

赤、黄、緑の3色旗。3色はそれぞれ動物、鉱物、植物を表す。中央の紋章は9地方を表す9つの星。

- | | |
|--------|----------------------------|
| ① 面積 | 109万8581km ² |
| ② 人口 | 724万人（94年） |
| ③ 首都 | ラパス（法律上はスクレ） |
| ④ 住民 | インディオ55%、混血32%
白人13% |
| ⑤ 主要言語 | スペイン語 |
| ⑥ 宗教 | カトリック教 |
| ⑦ 元首 | 大統領（任期4年） |
| ⑧ 通貨 | ボリビアーノ |
| ⑨ その他 | 協力隊員の派遣人数365人
栃木県からは11人 |



▲ラパス市内

国際交流団体紹介

大平町日中友好協会

本会は1980年8月に、中国に関心のある有志が中心となり設立され、今年で16年目を迎えるとしています。会員数はこの国際化の流れのなかで順調に増え、45名になりました。会の活動も「ぶどう交流会」をはじめとして、地域での活動に重点を置いて多くの交流活動を実施しています。

毎年夏に開催している「ぶどう交流会」は、本会のメイン事業であり、昨年で12回目になりました。この交流会は中国大使館員、県内の中国人留学生・研修生を大平町のぶどう園に招待し、町の特産であるぶどうを摘みながら、また昼食を一緒にとりながら交流を深めるというもので、年々参加者も増え90名程の人数で実施しています。参加された中国人の方々からは、日本での楽しい思い出の一つになったと礼状も届き、好評な催しとなっています。

また、県と友好交流関係にある浙江省の蘭溪市との交流を深めようと、2次に渡る調査団を派遣しました。現在は児童の書画交換などを通しての文化交流を進め、町民全体の友好の機運を醸成している段階です。

本会は、中国との友好交流を深めるためにはまず中国の理解が必要と思い、町公民館の中国語講座の支援、町の文化祭での中国展の開催、県のインターナショナル・フェスティバルへの参加、中国古典芸能鑑賞会共催など多彩な活動を行ってきました。これからもこのような活動を通して、本会の町民への周知と中国との友好交流を促進させ、ひいては町民の国際化、国際理解に貢献しようと会員みんながボランティア精神で頑張っています。(文：野口清 連絡先：井木澤裕 ☎0282-43-9219)



▲ぶどう狩りを通して中国人留学生・研修生と交流

国際交流 学校訪問

作新学院吹奏楽部

作新学院吹奏楽部は今年3月、宇都宮市と姉妹都市関係にあるニュージーランドのマヌカウ市に赴き、県内の吹奏楽部では初めてというホームステイを兼ねた演奏旅行を行った。今回の遠征にはマヌカウ市役所を通じ、市民がホストファミリーとして、赴いた53名全てを受け入れ、週末には各家庭でプログラムを用意してくれた。そして3高校での演奏交流、市役所前での演奏会、更には市民バンドの「フォスターズ」のジョイントコンサートを行ってきた。

演奏してきた曲目は、マーチを主に「上を向いて歩こう」やディズニーの曲などポピュラーなものや宇都宮市の市政100周年記念の曲など。ホストファミリーも彼らの演奏を聞いて感動したという。

やはりニュージーランドは移民の国らし



▲市役所前広場での演奏の様子

く、多民族のホストファミリーの家庭に滞在でき、親善遠征は大成だったそう。



▲ホストファミリーとの涙の別れ

「今回の演奏旅行は単独校として行く数少ない遠征で、以前から生徒たちに海外での経験をさせてやりたいと思っており、そのチャンスが到来したものです。帰国後、生徒たちの成長は目を見張るものがあり、しっかりしてきたなという印象です」と顧問の石塚先生は語る。

一方、部長の川井琢水さんは「マクレレンズ高校の夜のコンサートはとても印象的で、高校生たちが盛り上げてくれ、日本では味わえない体験ができました。今回、この10日間でチームワークが以前にも増して備わったと思います」と語ってくれた。

また副部長の石川春美さんと八木澤弘美さんは「ホームステイでは最初戸惑いましたが、単語を並べたり、ジェスチャーをしたりして、何とか通じました。他人には思えないような親しみやすい人達だったので、帰国の時は、ちょっと悲しかったです」とその時の様子を話してくれた。



▲右から石塚顧問、八木澤弘美さん、石川春美さん、川井琢水さん

知って得する なんでもQ&A

〔外国人登録について〕

Q. 外国人登録制度とは何ですか。

A. 外国人登録法に基づく制度で、一部の外国人（観光等で短期間日本に滞在する者や、条約及び国際儀礼上登録を免除されている者）を除く全ての在留外国人が登録の対象となります。日本に上陸した外国人は上陸の日から90日以内に、また日本国内で外国人となった者（外国人として出生した者や、日本国籍を離脱した者等）は、その

日から60日以内に各居住地の市町村長に対して「外国人登録申請書」とパスポート等を提出して登録の申請をしなければなりません。在留外国人は福祉、医療などの行政サービスを受ける際、身分事項や居住の事実を明らかにすることが必要ですが、登録の実施によりこれを公的証明として利用できるようになります。在留外国人は住民票には記載されませんが、登録申請受理後に交付される外国人登録証明書は住民票と同じ役割を果たします。また日本政府にとっては、外国人の出入国管理、教育、福祉医療等の行政を行う上での資料となります。

登録証明書



(非永住者用)

外国人登録証明書
見本（非永住者用）

情報発信 地域の国際交流案内

★アメリカの公立高校への留学

ミネソタ州レッドレークフォールズ町立ラフィエット高校のグローバル・スタディーズ・インスティテュートは下記のとおり留学生を募集している。

▷資格＝14歳～19歳でタバコ、アルコール、麻薬を使わない人、基礎的な英語力がありアメリカの学校の成績で平均2.6を取る（最高4.0）▷授業期間＝9月から5月まで▷費用＝7,175 U S ドル（1996年度）▷費用内訳＝寮の部屋代、食費、シャツ代、一部交通費、プログラム作成費、ラフィエット高校活動券、寮の敷金、TOEFL試験、健康保険料、空港出迎え料▷授業料＝無料▷資料請求及び連絡先＝日本支部担当・山本和子☎0289-76-3393

★国際協力・交流・NGO団体名鑑発売

日本全国の国際協力・交流団体及びNGO約3,200団体を収録した「国際協力・交流・NGO団体名鑑1996年版」が、(社)日本外交協会から発行された（外務省監修）。日本で唯一の全国をカバーした国際協力・交流団体の総覧であり、多様な分野で活動している民間団体を広く網羅している。巻末には在日大使館・領事館、在外公館リストをはじめ、海外の主要NGO、国や地方公共団体による各種NGO支援制度、NGO事業補助金交付先一覧、草の根無償資金協力事業一覧、国際ボランティア貯金配分対象事業一覧なども掲載されている。定価6,000円（A5版、送料別）。申込みは(社)日本外交協会☎03-3584-6200まで。

★青年海外協力隊春募集

▷応募資格＝20歳から39歳まで▷応募方法＝所定の願書（TIAで入手可能）を5月31日までに協力隊事務局へ提出▷選考試験＝1996年6月16日（日）▷派遣期間＝2年間▷派遣国＝アジア、アフリカ、中南米、中近東、大洋州、東欧の50数か国▷赴任＝単身赴任▷待遇等＝現地生活費が支給される。労災保険等の補償制度あり。無職で参加の場合、毎月定額が積み立てられ、帰国後に一括して支給される。現職参加の場合、休職等で所属先に身分を残したまま協力隊に参加できる場合もある。▷問い合わせ＝TIA協力隊係☎028-621-0777



「ガーナで理科教師として活躍した本県出身の赤羽悦子さん」

★今市市と野木町に国際交流協会が設立 〔今市市国際交流協会〕

▷会長＝新藤久氏▷連絡先＝〒321-12今市市本町1今市市役所総務課内☎0288-21-5130・FAX0288-21-5137▷今後の事業内容＝姉妹都市交流、在住外国人との交流、国際交流ボランティア団体の育成、各種交流イベントの開催等▷賛助会員（年会費）＝個人3,000円、団体・法人10,000円〔野木町国際交流協会〕

▷会長＝金沢豊氏（町長）▷連絡先＝〒329-01下都賀郡野木町大字丸林571野木町役場内総務課秘書人事係☎0280-57-4111・FAX0280-57-4190▷今後の事業内容＝姉妹都市交流、スポーツやレクリエーションを通しての在住外国人との交流、講演会の開催等▷賛助会員（年会費）＝個人3,000円、団体・法人10,000円

TIA日誌

1996年4月1日～1996年5月31日

- 4/3 第1期日本語講座開講（TIA研修室）
- 4/8 平成8年度県費留学生入国
- 4/9 平成8年度県費留学生TIA表敬
- 4/17 青年海外協力隊春募集説明会（宇都宮市）
- 4/22 平成8年度県費留学生知事表敬
- 4/25 青年海外協力隊春募集説明会（足利市）
- 5/10 青年海外協力隊春募集説明会（小山市）
- 5/13 青年海外協力隊春募集説明会（大田原市）
- 5/22 青年海外協力隊春募集説明会（宇都宮市）
- 第16回TIA評議員会（自治会館）
- 5/23 第18回TIA理事会（ニューみくら）
- 5/25 栃木県青年海外協力隊OB会総会（宇都宮市）
- 外国人留学生支援金に関するガイダンス・懇親会（プラザインくろかみ）
- 5/30 市町国際交流協会連絡会議（プラザインくろかみ）
- 国際交流団体連絡会議（プラザインくろかみ）

栃木県国際交流課長に小林茂雄氏



前任の畠山富雄氏の後任として、旧栃木県県民生活部厚生課総務主幹の小林茂雄氏（48歳・宇都宮市在住）が国際交流課長に就任した。

宇都宮⇄成田空港

（直通高速バス マロニエ号）

空港ターミナル出発ロビーへ2時間50分！

	成田空港ゆき		宇都宮ゆき	
	宇都宮発	成田空港着	成田空港発	宇都宮着
●運賃・片道 大人 4,000円 小人2,000円 ●15名様以上団体割引	5:10	8:00	8:30	11:20
	6:10	9:00	14:40	17:30
	8:30	11:20	15:40	18:30
	10:10	13:00	17:00	19:50
●お問合せ・ご予約は	12:00	14:50	18:10	21:00
	14:00	16:50	19:40	22:30

マロニエ予約センター ☎(028)638-1730 または関東バス各営業所へ 関東バス

栃木県交響楽団

創立25周年記念 第61回定期演奏会

曲目 ベートーヴェン 交響曲第2番
グリエール ホルン協奏曲
コダーイ 「ハーリ・ヤノシュ」組曲

指揮 井崎正浩

ホルン ハンス・ビツカ

6/9 (日) PM2:00

▷栃木県総合文化センターメインホール
全自由席¥1,000 宇都宮市内プレイガイドにて前売
お問い合わせ 栃響事務局 ☎028-623-3422

TIA Information Corner

★第Ⅰ期日本語講座開講中

▷対象＝在県外国人 ▷期間＝1996年7月17日まで（毎週水曜日）午後6時～8時
▷場所＝T I A 3階研修室 ▷受講料＝無料（ただしテキスト代は実費）▷申込み＝T I A日本語講座係☎028-621-0777へ

★First Semester Japanese Language Lectures Registration

Participants : Prefectural foreign residents
Term : Every Wednesday from 6:00 to 8:00 pm until July 17

Location : The third floor of the TIA

Fee : Tuition is free, but students must purchase the textbook.

Please call the TIA at 028-621-0777 to enroll.

★国連英語検定試験

▷試験日＝第1次試験…1996年7月7日（日）、第2次試験…1996年8月18日（日）（特A・A・B級のみ）▷受験地＝宇都宮大学峰キャンパス▷検定料＝特A級・7,200円、A級・5,000円、B級・3,900円、C級・2,800円、D級・1,600円、E級・1,300円（消費税込み）▷申込み＝申込用紙（郵便振替用紙）の申込欄の所定の事項を書き込み、郵便局で検定料を振り込む。用紙はT I Aで配布。▷申込期限＝平成8年6月3日（月）まで

★外国人向けテレホンサービス

足利市では、市内の外国人が便利で安全で楽しく日常生活が送れるよう、4か国語（スペイン語・ポルトガル語・英語・中国語）によるテレホンサービスを開始した。

内容は、国・県・市からの行政案内や、ゴミの収集日や出し方などを知らせる生活情報、また県内外のイベント情報等で、2週間ごとに内容を新しいものに変えてい

く。▷スペイン語＝☎0284-21-0991▷ポルトガル語＝☎0284-21-0992▷英語＝☎0284-21-0993▷中国語＝☎0284-21-0994

SERVICIO TELEFÓNICO PARA LOS EXTRANJEROS

La ciudad de Ashikaga se inició el servicio por el teléfono en 4 idiomas (español, portugués, inglés y chino) para que los residentes extranjeros puedan pasar la vida práctica, segura y agradable.

Este servicio ofrece avisos administrativos, guías como la recogida de la basura y también informaciones de los eventos de esta y otras provincias.

Las informaciones se cambia cada dos semanas.

▷Español ☎ 0284-21-0991, Português ☎ 0284-21-0992, Inglés ☎ 0284-21-0993, Chino ☎ 0284-21-0994.

SERVIÇO DE INFORMAÇÕES PELO TELEFONE

A Prefeitura de Ashikaga deu início ao serviço de informações pelo telefone em 4 idiomas (espanhol, português, inglês e chinês) para que os estrangeiros possam ter uma vida prática, segura e agradável.

Este serviço oferece informes públicos, como dias e formas de recolhimento de lixos, informações de eventos desta e outras províncias.

Estas informações são renovadas a cada duas semanas.

▷Espanhol ☎ 0284-21-0991, Português ☎ 0284-21-0992, Inglês ☎ 0284-21-0993, Chinês ☎ 0284-21-0994.

TELEPHONE SERVICE FOR FOREIGNERS

Ashikaga city has begun a 4 language (Spanish, Portuguese, English and Chinese) telephone service to ensure that the day-to-day lifestyle of foreign residents is convenient, safe and fun.

The recording will detail municipal, prefectural and national policies. It will also provide information on garbage collection days and the proper methods of disposal, as well as prefectural events. The recording will be updated every two weeks.

▷Spanish ☎0284-21-0991▷Portuguese ☎0284-21-0992▷English ☎0284-21-0993▷Chinese ☎0284-21-0994

対外国人の電話サービス

足利市为使市内外外国人的日常生活能够方便、安全、愉快地渡过，开始四国语言（西班牙语、葡萄牙语、英语、中国语）的电话服务。内容是：国家、县、市的行政指南、收集垃圾日和收集方法、生活情报的通知，另外县内、外的活动等。两星期内容更新一次。

西班牙语 0284-21-0991

葡萄牙语 0284-21-0992

英语 0284-21-0993

中国语 0284-21-0994

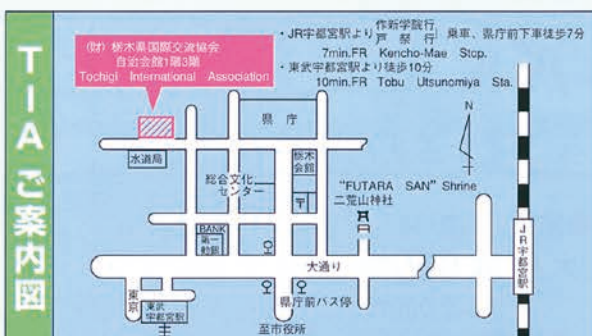
T I A 賛助会員募集中！

賛助会員になりますと、T I A の機関紙、各種刊行物、催事情報等が受けられます。またテレビ方式変換ビデオ（海外→日本、日本→海外）をご利用できます。その他会員証の提示により、指定店での割引等の特典もあります。年会費は個人3,000円、団体10,000円、法人30,000円。

※賛助会費と出捐金の運用益は、T I A の様々な事業に使われており、地域の国際化のために役立っています。

編集後記

○私Uは5名の高校生の引率者として仏国・ヴォークリューズ県を訪れた。そしてファール高校で私も体験通学を行ったのだが、授業中や学食で多くの仏高校生からなんと「君は高校生？」と尋ねられた。ちょっと待ってくださいよ！いくら私が若く見えるからといって高校生はないんじゃない？君たちの倍は生きているんだよ…と言いたかった（でも確かに私より老けてみえる仏高校生がいた）。○今号から始まったシリーズ「青年海外協力隊〜」では、知られざる世界の国々を紹介していく。今回はボリビア編。手塚さんから楽しい体験談を聞いて笑いの連続だった。次回はマラウイを予定。



編集・発行 財団法人栃木県国際交流協会

住所 〒320 宇都宮市昭和1-2-6 栃木県自治会館1階

T E L 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用電話)

F A X 028-621-0951

業務時間 8:30～17:15 土曜・日曜・祝祭日・年末年始は休業

※財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人（寄附金の損金算入等の課税特別措置）の認定を受けました。つきましては、当協会の事業にご賛同下さる各企業、団体、ほか皆さまからのご出捐をお願いしております。